

第1回 五泉市地域公共交通活性化協議会

■日時 :平成24年8月24日(金) 14:00～

■会場 :五泉市福社会館3階 大会議室

■議事次第

1. 開 会
2. あいさつ 会長 伊藤 勝美
3. 議 事
 - (1) 平成23年度 ふれあいバス(基幹バス)事業報告について
 - (2) 平成23年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について
 - (3) 平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について
 - (4) 生活交通ネットワーク計画について
 - ①地域間幹線系統確保維持計画 (ふれあいバス)
 - ②地域内フィーダー系統確保維持計画 (さくら号)
 - (5) 今後のスケジュールについて
 - (6) その他
4. 閉 会

■資料

【配布資料】

◇議事次第 ◇出席者名簿 当日配付 ◇配席図 当日配付

【議事資料】

資料1. 平成23年度 ふれあいバス(基幹バス)事業報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料2. 平成23年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料3. 平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料4. 生活交通ネットワーク計画について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料5. 今後のスケジュールについて	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)

■出席者(敬称略)

	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	常務取締役	たまき こうすけ 田巻 耕介	
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部	企画室長	にしだ さとし 西田 聡	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関 塚 政行	
6	公益社団法人 新潟県バス協会	事務局長	こばやし まさゆき 小林 正幸	欠席
7	五泉市ハイタク協議会	会長	のざき かずみ 野崎 和巳	新任 代理出席 かねこ あきら 金子 了
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	おおつか あきら 大塚 明	新任 代理出席 副部長 こうだ かずひこ 甲田 和彦
9	五泉市都市整備課	課長	つかの ふみお 塚野 文雄	
10	新潟県五泉警察署	署長	しまな とおる 島名 透	新任 欠席
11	五泉市老人クラブ連合会	副会長	わたなべ てるお 渡 邊 照男	
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	会長	おざわ えいし 小澤 栄士	新任 欠席
13	長岡技術科学大学	准教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 企画観光部交通企画課	課長	さいわい みなこ 幸 美奈子	代理出席 専門官 いしづき ひであき 石月 秀明

	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	かざま かつゆき 風間 勝行	新任
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	あおき まさなお 青木 正直	新任 代理出席 地域振興課長 しもとり たけみ 下鳥 竹見
17	新潟市秋葉区地域課	課長	かわせ まさゆき 川瀬 正之	欠席
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青柳 芳樹	代理出席 次長 めぐろ ひろゆき 目黒 博之
19	阿賀野市総務課	課長	まるやま さとし 圓山 知	新任
20	五泉商工会議所	専務理事	おやなぎ たかし 小柳 隆	監査員 欠席
21	村松商工会	事務局長	よこやま よしなり 横山 芳成	新任 監査員
22	五泉市商工観光課	課長	しんぼり きよたか 新堀 清隆	新任 欠席
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋浦 三男	
24	五泉市健康福祉課	課長	あさい たかこ 浅井 隆子	新任
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	副支部長	さとう よしのり 佐藤 良徳	欠席
26	五泉市高齢福祉課	課長	おちあい ひであき 落合 英昭	
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	おぐる つねき 小黒 常樹	代理出席 課長補佐 くまくら じゅんや 熊倉 淳也

■事務局（五泉市企画政策課）

- 事務局長 川村 正美
- 事務局次長 塚野 剛樹
- 事務局員 中村 康輔
- 事務局員 松尾 聡
- 事務局員 本間 泰巳

■議事録

開会 14:00	
司会 (川村事務局長)	<p>定刻になりましたので、第1回五泉市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。</p> <p>次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>はじめに伊藤会長よりごあいさつをお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>本日は、大変お忙しい中、また、この様に暑い日が続いている中を、皆さまにお集まりいただきまして、大変有り難うございました。</p> <p>この協議会が事業主体となって平成22年度の10月から運行しておりますふれあいバスと乗合タクシーが順調に推移し、事故等もなく、おかげさまで運行されておりますことに対しまして、委員の皆さまのご指導のおかげと深く感謝を申し上げる次第であります。特に、学生と高齢者の通学、通院等に大変な効果を上げ喜んでいるところであります。今後とも委員の方々からご指導いただきながら、公共交通の安定に努力していきたいと思っております。</p> <p>本日は議題の中にありますように、ふれあいバスと「さくら号」の事業報告ならびに決算報告をさせていただきます、今年度からの「生活交通ネットワーク」計画についてご説明申し上げる次第であります。</p> <p>委員の方々からはそれぞれのお立場で、忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、この公共交通の多様な交通体系を維持していきたいと思っておりますので、よろしくご指導の程お願い申し上げます。</p>
司会 (川村事務局長)	<p>有り難うございました。</p> <p>次に、委員の方の変更がございますので、ご紹介させていただきます。</p> <p>本日配られております名簿をご覧いただきたいと思っております。名簿の番号で、7番・野崎委員、それから8番・大塚委員、10番・島名委員、12番・小澤委員、15番・風間委員、16番・青木委員、19番・圓山委員、21番・横山委員、22番・新堀委員、24番・浅井委員、以上10名の方が変更となりました。</p> <p>それでは、新しく委員とられました皆さまから、自己紹介をお願いしたいと思います。</p> <p>自己紹介</p> <p>大変有り難うございました。</p> <p>それでは、事務局の変更はございませんけれども、改めて、自己紹介をしたいと思います。</p> <p>事務局 自己紹介</p> <p>これより、議事を会長をお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>それでは議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規程により「会議の成立は委員の過半数」となっておりますが、委員の出席数を事務局から報告してください。</p>

事務局（松尾）	委員27名中、只今の出席は18名です。
伊藤会長	<p>ただいま事務局から委員27名中18名の出席との報告がありましたので、この会議は成立しております。</p> <p>次に、委員の変更とともに監査員も変更となっております。監査員は規約第8条第3項より会長の任命となっておりますので、すでに、村松商工会 横山委員をお願いいたしました。ご異議ございませんでしょうか。</p> <p>異議なし</p> <p>有り難うございます。その通り横山委員の方から監査員をよろしく願いいたします。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>(1)平成23年度 ふれあいバス事業報告について、(2)平成23年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について事務局の説明を求めます。</p>
事務局（本間）	<p>説明に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。</p> <p>資料の確認</p> <p>それでは、説明に入りたいと思います。</p> <p>まず、(1)平成23年度 ふれあいバス(基幹バス)事業報告についてです。資料1 をご覧いただきたいと思います。この資料につきましては、平成23年4月から平成24年の3月までの一年間のふれあいバスの実績をまとめたものです。ふれあいバスにつきましては、平成23年度の一年間で合計 86,653名の方からご利用いただきました。一日の平均で見ますと、1月と2月の降雪時期が最も利用が多い状況でありました。それから、8月の夏休みの期間が減少しておりますが、そのことから学生の利用の割合が非常に多いということが読み取れるかと思えます。また、前年度との比較ですが、この運行開始が平成22年の10月からですので、比較できる部分が10月から3月までの半年間となりますが、利用人数が、平成23年度で約3割増加しております。ここからもふれあいバスの制度が定着してきて、利用者が増えているということがうかがえると思えます。</p> <p>次のページをご覧ください。「属性別利用者数の推移」ということで、利用者の方の属性、中学生以上、小学生、未就学児ということで人数がのせてあります。中学生以上の方がほとんどになりますけれども、その中でも約半数が一般の方、それからもう半数が学生の方の利用となっております。</p> <p>次に、運賃収入につきましてご説明させていただきたいと思います。運賃収入につきましては、一般の現金の運賃収入、それから乗り放題券、回数券を合わせて、13,380,196円の収入がありました。その内、運賃収入、現金の部分ですけれども、それが、7,924,696円で全体の59%になります。乗り放題券が34%それから回数券が7%の収入となっております。学生の乗り放題券が一般の方の半額の3,000円になっておりまして、学生の方の通学の利用が多くなっております。</p> <p>次は、天候別、それから曜日別の利用状況について分析してあります。この数</p>

	<p>字は、平成22年の10月からの通算の累積となっておりますが、こちらの方につきましては、資料からお読み取りいただきたいと思ひます。</p> <p>続きまして、平成23年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」の事業報告についてです。資料2 をご覧いただきたいと思ひます。資料2 の上の方に、小さく赤い字で、登録の割合が書いてあります。登録世帯数を五泉市の世帯数から見ますと、24年3月末現在の数字となっておりますが、16.2%にあたる、2,990世帯の方から登録をいただいております。人口で見ますと、登録者数 5,809人の方から登録をいただいております。五泉市の人口全体から見ますと約1割の方から登録をいただいている状況であります。</p> <p>「さくら号」の利用者数につきましては、1年間で 43,180人となっております。比率で見ますと、やはり、1月から3月までの冬場の降雪時の利用が多くみられます。高齢者の方を中心に利用いただいておりますが、平成22年度と平成23年度の利用者数を比較いたしますと、「さくら号」は平成22年10月からの運行となりますので、10月から3月までの半年間の比較となりますが、平成23年度の方が約25%増加しております。こちらにもふれあいバスと同様に、制度が利用者に定着してきたというところがうかがえると思ひます。</p> <p>次のページをご覧ください。次は稼働率についての表をのせてあります。全部で1号車から7号車までありまして、号車ごとに、各月の乗車率がのせてあります。下の黒枠で囲んであるところは全体の乗車率となっております。平日の午前が58%、平日の午後が47.1%、土曜の午前が55%、土曜の午後が39.5%の稼働となっております。こちらの方は高齢者の通院とか買い物での利用が多く、特に午前の利用が多くなっている状況であります。今後の課題といたしましては、午後からの稼働率をいかに上げて行くかということになるかと思ひます。</p> <p>次のページをご覧ください。次は、運賃収入についてです。合計で 12,624,545円となっております。その内、タクシー運賃といたしまして、現金の収入が全体の53%で、それから回数券の収入が42%、残りの5%が高齢者助成券と福祉タクシー券を合わせた数字となっております。</p> <p>次のページをご覧ください。今度は「さくら号」の天候別利用者数、それから曜日別利用者数がのせてあります。こちらにも、平成22年10月の運行開始からの累計の資料となっておりますが、こちらにつきましては、それぞれ資料から読み取っていただきたいと思ひます。</p> <p>資料1、資料2 の資料説明については以上となります。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>引き続き私の方から、「基幹バスの利用状況」という表題で、A4の横版の資料を8枚くらい机の上に置かせていただきました。公共交通の運行開始から、五泉市に対していくつかの市の方が、先進市の視察ということでお見えになられております。この資料は、その方々に説明するためにということで作り始めたもので、今まである中の最新の数字でまとめたものであります。</p> <p>まず、1枚目は、基幹バス(ふれあいバス)の利用状況ということで、運行開始</p>

の平成22年10月からの数字を表とグラフにまとめてみました。さきほど、本間の方からも話がありましたが、ふれあいバスは高校生の利用が多いものですから、春休み、夏休み、冬休みのあたりになると数字が減り、特に8月になりますと、がたっと落ち込みますが、冬場にかけてまた利用が多くなっていくというような状況が、このグラフから見えるかと思っております。今年の1月ですけれども、今までで最高の9,498人の利用がありました。説明の中で、運行当初からの伸び率の話がありましたが、平成24年度が始まって4月から7月までの4ヶ月間の利用者数と、前年の同じ時期との比較を、この表の中でしてみました。平成23年の4月から7月までは25,107人でしたが、今年の4月から7月までは31,539人ということで、比較しますと125.6%になり、非常に伸び率があるなというふうに感じております。

次に、デマンド乗合タクシー「さくら号」の利用状況ということで、この資料は乗合タクシー関係を中心に作っていたものですから、「さくら号」の方のボリュームが多くなっておりますけれども、利用状況①というところをご覧くださいと、登録につきましては今までいろいろな資料で説明がありましたが、現在、人口の1割くらいの方からの登録をいただいております。私たちはこの事業を始める前に、どのくらいの方からの登録を想定したらいいかということで、当初は人口の5%程度であります、2,800人位の登録があるというような想定でスタートしておりましたものですから、現在は想定の2倍くらいは来ているというような状況であります。資料の下の方は、登録の状況を年代別に、グラフにしてみたものです。やはり、高齢者の方が多くて、60代以上の方で全体の7割の登録になっているような状況でございます。

次に、運行開始から、現在データが取れている平成24年7月末までの利用状況を、累計でまとめてみました。上の方が表になっておりまして、下をグラフにしてみました。やはり、高齢者の方の利用が中心ということで、60代、70代、80代、90代、この部分でもう8割くらいの利用があります。「不明」とありますが、システムの中に登録してあればこそ年代がわかるのですが、登録されていない方が利用されますと「不明」という扱いになります。実際はこの部分についても、60代以上の方が中心の利用だということで、全体で89%くらいが、高齢者の利用だという状況がわかってきております。

次のページをご覧ください。ふれあいバスと同じように、月毎に、利用者数をグラフにしてみました。カーブが右上がりには伸びているということが見てとれると思いますが、やはり気候の関係もあって、冬場にかけて非常に多くなっております。春から秋にかけては、自転車、バイク、歩き、そういった手段の利用ができる環境になりますので、「さくら号」の利用は減ってくるという状況になっております。

今年の3月が今までで最高の、月4,313人の利用がありました。運行日数の関係もありますけれども、今年の2月、3月あたりが今までで一番多くなっているという状況でございます。それから4月から7月までの4ヶ月の比較を同じように

してみました。去年の4月から7月までが、13,053人、今年の4月から7月までが、15,101人ということで、115.7%の伸び率になり、バスほどではありませんが、十分に伸び率があるなというふうに見えてきております。

次のページをご覧ください。「さくら号」は、時間を決めて便を走らせているというふうなことであります。便ごとの利用がどのくらいあるかというところを少しグラフにしてみました。グラフの棒の色が薄い方が「行き」ということで、郊外から街中へ入ってくる便、それから色の濃い棒が街中から郊外へ帰って行く便、というようなかたちになります。グラフの中で、9:00便というもの、一番ピークが高くなっているところですが、郊外から街に入ってくる時間帯の9:00便というものが「行き」のピーク、いわゆる、医者に行ったりする場合のピークの便だということになります。

それから、「帰り」であります、街中から郊外へ帰って行く便のピークが12:30という便だと思えますが、これが「帰り」のピークという事になります。やはり、午前中にピークが高くなっておりますので、先程、本間の方からも話がありましたけれども、午後のピークをもう少し上げられないかということを考えているところでもあります。傾向としましては、大体、午前中に医者などに行って、帰りはスーパーなどでの買い物やいろいろなお店に寄って、お昼の便で帰って行く、というような動向になっております。

次のページをご覧ください。乗合タクシーには、デマンドのシステムが入っております、どういった場所に何回行ったかということがデータで取れるようなシステムになっております。表が二つありますが、左の方が降車場所ランキングということになります。目的地はどこかというランキングを1位から20位まで出してみました。1位が村松駅、2位が南部郷病院、それから、きなせや悠遊館ということで、利用の頻度が多くなればその分ランキングが高くなって行きますが、1位から20位までの間に病院の関係が九つあるということで、やはり高齢者の数字だなというふうに思っております。

右の方の表は、乗車場所ランキングですので、どこから乗って家に帰ったかという、乗った場所をランキングに表してみました。そうすると1位から3位までがスーパーだということで、「行き」には病院などに行って、「帰り」にはスーパーに寄ってそこから家に帰る、というような動向がこちらの表からも見えてくるというふうに思っております。

次に、導入後どのような取り組みをしてきたかということをお話してみました。こちらの協議会だけではなく、市の方の取り組みも少しこの中に入っておりますが、免許返納者への支援ということで、運転免許を返納した場合、12,000円相当分のチケットを、環境保全課の方でお渡ししております。それから運行日数を拡大させていただきました。あとは市の高齢福祉課の方では、65歳以上の方が回数券チケットを買くと1枚無料の分をプレゼントするというような事もしております。

	<p>それから、私が、今年の春先に、いろいろな所に出向いたり、同乗させていただいたりして、利用者の方やお店などでインタビューをさせていただきました。私が行きました所は特に利用が多い所ですが、スーパーからは、「具体的に分析はしていないけれども、こうやってこれだけ多くのお客さまが利用していることを考えると、販売効果はあるのでしょうか」というようなお話もありましたし、「非常に良い乗り物だ」「これからも続けて下さい」というお話もありました。インタビューの3番目は確かスーパーの店長さんだったと思うのですが、「帰りの「さくら号」を待っている間に、パンを買ったり弁当を買ったりして、休憩スペースでそういうものを食べたりしていただいております。」という事でこの部分については経済効果もあるのかなというふうに考えております。マッサージ店につきましては、「今までのバスよりも本数も多いものですから、来ていただく回数も増えましたね」などというお話もありました。</p> <p>最後のページになりますけれども、「さくら号」に一緒に乗せていただいて、利用者の側から見たお話をお聞きしてきました。その時同乗させていただいたのは、今まで公共交通がなかった地区にお住まいの方でしたので、「非常に便利になりました」、「街まで6キロぐらいありますが、今までは三輪自転車を漕いで街通いをしていました」というようなお話をお聞きしました。また、今まではバス停まで行ってバスに乗っていたという方は、私が見た距離でいきますと、だいたい2キロぐらいバス停から離れているようなお宅に住んでいる方でしたけれども、「天候に関係なく利用が出来ていいよ」というようなお話もお聞きしましたし、「大変助かっている」というお声もありました。それから、家から病院まで“ドア to ドア”で来てくれるということで、「足が悪いので助かります」というお話もありました。料金は300円という設定ですが、「安く乗ることができて助かっています」という方もいました。たまに、予約が面倒くさいというお話も聞くことがありますが、予約はどうでしょうかという事を聞きましたら、「非常に簡単だね、何も面倒なことないわね」というようなお話をいただきました。それから、なかなか便に合わせられないというお話も聞いたことがありますが、それにつきましては「いやいや「さくら号」に合わせて、自分の予定を考えながら予約しているので、全然問題ないよ」というようなお話もお聞きしたところでございます。</p> <p>少し長くなりましたけれども、補足で説明させていただきました。以上です。</p>
伊藤会長	<p>(1)、(2)を説明いただきました。質疑は後程ということで、次に移りたいと思います。</p> <p>平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について説明を求めます。</p>
事務局(本間)	<p>それでは、(3)平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告ということで説明申し上げます。資料3 平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会収支決算状況についてという書類をご覧いただきたいと思っております。</p> <p>まず、1. 歳入ですが、こちら、負担金につきましては、予算額46,075,000</p>

	<p>円に対しまして、決算額38,611,000円。補助金につきましては予算額19,567,000円に対しまして、決算額28,031,000円となっております。平成22年度からの繰越金が892,165円、それから諸収入につきましては、予算額26,385,000円に対しまして、決算額が53,007,562円となっております。決算額が予算に比べて膨らんでおりますけれども、こちらにつきましては、国・県からの補助金が事業の実績報告が終わってからの振り込みとなりますので、その間に銀行からの運転資金の融資を受けたものとなっております。</p> <p>合計いたしますと予算額92,028,000円に対しまして、決算額120,541,727円となっております。</p> <p>続きまして歳出の方ですが、会議費につきましては予算額155,000円に対しまして、決算額34,150円 それから、事務費につきましては予算額254,000円に対しまして、決算額27,204,941円となっておりますが、こちらは先程お話ししましたように融資に対します返済元金の27,000,000円が含まれております。事業費につきましては、予算額91,609,000円に対しまして、決算額89,588,007円となっております。内訳につきましては、ふれあいバス、乗合タクシー「さくら号」、それから利用促進事業、こちらは公共交通時刻表、本日も配りした時刻表の作成に関する費用となっております。</p> <p>ふれあいバス、「さくら号」それぞれの運行経費に対する運賃収入を比べた収支率というものを出示してみますと、ふれあいバスについての収支率が32.5%となっております。こちらが昨年比で3.6%の増、それから「さくら号」につきましては、平成23年度が26.6%となっております、現時点で0.7%減となっております。合わせて全体では収支率が29.4%となりました。</p> <p>以上のことから、一番下になりますが、歳入額120,541,727円の歳入額から、支出額116,827,098円を差し引きました3,714,629円につきまして、次年度に繰り越しをさせていただきたいと思っております。</p> <p>繰越額につきましては、本来であれば年度内に精算をすべきものでありますが、ふれあいバス、「さくら号」とも通年での運行をしておりまして、年度当初にかかる経費も必要となりますことから、この額を次年度に繰り越しをさせていただくものであります。資料の説明については以上であります。</p>
伊藤会長	<p>それでは本協議会規約第10条第2項の規定により、会計監査報告を横山監査員から報告願います。</p>
横山委員	<p>報告いたします。平成24年8月16日、平成23年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算に対する監査を行ったところ、関係帳簿及び証拠書類とも適正であったことをご報告いたします。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。議事の3件の報告につきまして、ご質問等ございませんでしょうか。</p>
樋浦委員	<p>利用者の声を聞かせていただいたのですが、悠遊館というものがありますね、ある人がそこへ行った時の話だそうです。帰りもバス(「さくら号」)を頼もうと思っ</p>

	たけれども、天気の良い時は歩きたいから、予約をしないでおいただけです。ところが雨が降ってきたから、ちょうど来た「さくら号」に乗せてくれと言ったら、予約してないからだめだよと断られたそうで、そんな時くらい乗せてもらいたいものだという話なのですけれども、(状況が)良く分かりませんが、(運転手に)よく聞いてみて、そういうふうな時には、余裕があつて出来るようなら、乗せてもらえると助かるという事です。そんな声を私は聞きました。
伊藤会長	事務局。
事務局(中村)	そういう時もあるかと思えます。現場での対応なのですが、片道30分で郊外と市街地を結んでいるものですから、それ以上乗せてしまうと30分の運行がかなわないというような時だったら、お断りしていると思えます。ただ、その時のドライバーの判断でこれ以上乗せても行けるなと思えば、柔軟に対応しているというふうに聞いておりますので、その時はかなわなかったのではないかと思いますけれども。
樋浦委員	はい、わかりました。その方にはそのように伝えます。
伊藤会長	他にどなたか、ありませんか。 <input type="checkbox"/> 質疑なし 無いようでありますので、この3件の報告につきましてご承認いただける方は拍手をお願いします。 <input type="checkbox"/> 拍手 ありがとうございます。ご承認いただいたという事で決定させていただきます。それでは次に、(4)の生活交通ネットワーク計画について事務局の説明を求めます
事務局(本間)	それでは(4)番の生活交通ネットワーク計画について説明をさせていただきます。まず、資料4-1 をご覧いただきたいと思えます。 生活交通ネットワーク計画についてお話しする前に、なぜその計画を出さなければいけないかというところで、国の補助制度についてご説明させていただきたいと思えます。 これまでの補助制度といたしまして、「地域公共交通活性化再生総合事業」ということで、五泉市も当協議会で申請をいたしまして、補助率2分の1の補助金を受けて事業を行ってきたところであります。しかし、この事業につきましては平成22年度末に廃止となりまして、平成23年度からは「地域公共交通確保維持改善事業」という新しい補助制度がスタートいたしました。このことによりまして、平成23年度は「地域公共交通活性化再生総合事業」の経過措置といたしまして、これまでの補助要件で、補助率2分の1の支援を受けることが出来ました。 制度が変わりました平成24年4月からという事でございますが、「さくら号」につきましては補助率が赤字分に対しまして2分の1で、補助額の上限が決まっております。ふれあいバスにつきましては、赤字分に対して2分の1補助ということで、こちらは補助対象経費に対しての上限が決まっております。こちらの補助制

度を利用いたしまして運行を行っていく必要があるということでもあります。

これまでは当協議会から補助の申請を行いまして、当協議会で補助金を受けて運行を行っておりましたが、この新しい事業につきましては、運行事業者が申請を行って、運行事業者が補助金を受けるといふかたちが変わっております。

この補助制度を受けるためには、地域の関係者による議論を経た地域交通に関する計画が必要だということでありまして、それにつきまして、昨年度の協議会の方でも提案をさせていただいておりますが、乗合タクシー「さくら号」の運行計画にあたります、「地域内フィーダー系統計画」ということで、資料4-2、それから4-3、4-4 といたしまして資料の方を付けさせていただいております。こちらの方が、五泉市の公共交通活性化協議会で策定した、「さくら号」の運行計画となります。

それから、ふれあいバスにつきましては、今度から、県の地域間幹線系統計画にのせていただく必要があるという事で、資料4-5 として付けさせていただきましたが、こちらは新潟県生活交通確保対策協議会が策定をする計画となっております。

こちらの県の計画の中にふれあいバスの計画ものせていただくかたちであります。補助制度の説明につきましてはこのようなところでございます。

次の、資料4-2、4-3 をご覧いただきたいと思っております。こちらの方が昨年度から皆さまに協議いただいた、「五泉市地域内フィーダー系統確保維持計画」です。「さくら号」に関する計画となっております。資料4-2、4-3 と同じような資料が二つ付いておりますが、こちらの方は、毎年3カ年計画を策定して提出するという事になっておりまして、本来であれば、資料4-3の平成25年度の計画を、今年の6月末までに提出するという事になっておるのですが、五泉市につきましては、「地域公共交通活性化再生総合事業」の経過措置といたしまして、以前補助金を受けておりました関係で、平成24年度の計画につきましても今年の6月末が提出期限になっておりました。

今回提出いたしましたものが、平成24年度の計画、24・25・26年度の3カ年計画と、資料4-3 の平成25年度計画、25・26・27年度の3カ年計画となっております。事業そのものは同じですので、

内容につきましてもほぼ同じものとなっております。資料4-3 の平成25年度計画でご説明させていただきたいと思っておりますが、今年の1月中に開催されました当協議会の方にも提出させていただきましたし、3月にも書面協議という事で、そこから事業者名を入れたものを皆さまに書面での協議をお願いいたしまして、承認を得たところであります。こちらの内容で6月27日に国の方にこの計画を提出させていただきましたので、ご報告をさせていただきたいと思っております。

それから資料4-4 という事で、「さくら号」の運行エリア図をのせてあります。こちらの方も目を通していただきたいと思います。

それから、ふれあいバスの運行計画ということで、資料4-5 を出していただ

	<p>いております。こちらの方は、県で策定する計画となっておりますが、ふれあいバスにつきましては、こちらの県の計画に乗せていただいているところであります。</p> <p>県の計画という事で、ふれあいバス以外の、県の補助の対象となりますバス路線につきましてものせてありまして、この中に五泉市のふれあいバスの計画も入っております。</p> <p>各運行業者3社、新潟交通観光バスさん、泉観光バスさん、蒲原鉄道さんの3社に運行をお願いしておりますが、そちらの地域内フィーダー系統という事で資料がのせてあります。</p> <p>こちらの方も計画は、県の方で策定しております計画ですので、後で中身についてご覧いただきたいと思います。</p> <p>制度の説明については以上です。</p>
伊藤会長	<p>生活交通ネットワーク計画についての説明をいただきましたが、ご質問等ございますでしょうか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、次に行かせていただきます。</p> <p>次に(5)今後のスケジュールについて事務局の説明を求めます。</p>
事務局（本間）	<p>(5)今後のスケジュールということで、最後、資料5 をご覧いただきたいと思えます。8月24日、本日の会議につきまして一番上にのせてあります。第1回 地域公共交通活性化協議会ということで本日の会議が終わった後、11月の下旬に第2回の協議会を予定しております。こちらにつきましては、上半期の利用状況について、それから平成25年度のふれあいバスの運営方針について、平成25年度のごせん乗合タクシー「さくら号」の運営方針について、皆さまから協議いただきたいと思えます。それから、平成25年の3月の予定ですが、第3回の会議の方を予定しております。こちらは、平成24年度の利用状況について、それから、平成25年度の事業案、平成25年度の予算案について皆さまから協議いただきたいと思えます。今後のスケジュールにつきましては以上となります。</p>
伊藤会長	<p>今後のスケジュールにつきまして質疑ございますか。よろしいですか。</p> <p>質疑なし</p> <p>無いようでありますので、次に進みます。</p> <p>(6)のその他ですが、事務局で連絡事項などがあればお願いします。</p>
事務局（中村）	<p>貴重なお時間を頂戴して皆さまから少しお話をお聞きしたいところがあります。といいますのは、「さくら号」の関係ですが、先程いろいろ資料などで説明をさせていただきました。私たちは協議会の事務局であります。市においては企画政策課というセクションでやっております。やはり、市でやっております関係で議会の方々のいろいろなお話もお聞きする事もございます。そうした中で、「さくら号」の利用料金の関係で少しご意見をいただいたところもあります。どういった内容かと言いますと、高齢者の方ではなく、中学生・高校生の方がもっと安く乗れた方がいいのではないか、というようなお話なのです。この「さくら号」、ふれあいバ</p>

	<p>スも含めて、走り始める前に一年間かけて計画作りをさせていただきました。その中で私たちが特に気にしておりましたのは、当然、利用の中心は高齢者になるだろう、という事は始める理由からも分かっておりましたので、その高齢者の方々が外出に困らない程度の料金設定にしなければならないというような事で、300円という設定をさせていただいたところです。計画に基づいて運行しておりますので、計画の中にも当然300円という事で位置づけてあるところですが、ただ、この「さくら号」、バスも含めてですが、悪くなった時にやめるという訳にはいかないと思っております。今、地域の中にある公共交通を持続して行くという事になりますと、ある程度の受益者負担、持続可能な部分ぐらいの受益者負担は当然頂いて行かなくてはならないというふうにご考えておまして、私たち受益者負担の300円という料金を下げるという考えは、今、無いところであります。ただ、そういった中で高校生、中学生の方が通学にも利用できるように、もっと値段を下げた方がよいのではないかというお話もありましたものですから、今日、この機会に貴重なお時間を頂いて、委員の皆さまから何かお話があれば、お聞きしたいということで、「その他」の中の時間を使わせていただきたいと思います。皆さまのお考えはいかがでしょうか。</p>
伊藤会長	<p>今、事務局から中・高生の料金の問題がありましたが、皆さまの方からご意見ございますか。</p>
渡邊委員	<p>私は貴重な提案だと思うのですが、小学生・中学生にも定期券をお作りになったらいかがですか。その定期券を割引にしてあげるとするのはどうですか。</p>
事務局(中村)	<p>バスには定期券があつて、学生は半額にしてあるのですが、この乗合タクシーにつきましては、もともと定期券という発想はありませんでした。</p>
渡邊委員	<p>さくら号の定期利用は、あまり想定していないのですか。</p>
事務局(中村)	<p>そうですね、毎日必ず使うという人が、この「さくら号」では一体何人いるかという事を考えますと、ほとんどいないのではないのでしょうか。通院するという場合でも、毎日医者に行くという人もなかなかいないと思われます。高校生のように毎日通学するというのであれば、メリットもあると思いますが、定期券を買って使うというメリットが発生する人というのが、あまりいないのではないかと、今の利用を見てもそうですが、毎日さくら号を使っているというのは、本当に極々限られた方ではないかと思われます。</p>
渡邊委員	<p>回数券のようなものも考えられるかと思っておりますが、それはまたご検討いただければと思います。以上です。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございます。他にございますか。</p>
樋浦委員	<p>そういう「利用者の声」ですけれども、私は時々思うのですが、苦情とか要望、意見ですよね。限られた決まった人が言うことが多いのですが、それが果たして大勢の人の意見なのかどうなのかという事も、確かめてみる必要があると思います。今のように学生さんの中で、確かにそれを利用して、それが無ければ本当に不便を感じるという方々が多いのであれば、それは考えて行く必要も</p>

	あるものだけれども、ただ「安くしてくれ」ということは…。
事務局(中村)	利用者の方が直接ではなくて、その「声」を聞いた方からということですが、安くしてあげたらどうか、というような、そうしたら高校生や中学生も、どんどん使いやすくなるのではないのでしょうか、というお話でした。
樋浦委員	それにより本当に利用者が使いやすくなるかどうかを考える必要があると思います。金銭の問題ではないような気もしますが。
伊藤会長	利用者の方から、「減額せよ」、「回数券」、といろいろなお話があろうかと思いますが、今後も利用者のニーズを各方面で調べさせていただきまして、また報告させていただきたいと思います。皆さまからもそれぞれのお立場で、この料金体系の方をお考えいただき、次の機会にお話したいと思います。それでよろしいでしょうか。それでは、他にありますか。
事務局(中村)	たいへんありがとうございました。最後になりますけれども、今日の会議の内容を、要望を含めて、市の広報やホームページに掲載をさせていただきますので、毎回の事ではありますけれども、どうぞご協力よろしく願いいたします。以上です。
伊藤会長	どうぞまた、よろしくお願いします。 全体を通しまして皆さまから、ご意見等なにかございませんか。 質疑なし 無いようでありますので、以上をもちまして、平成24年度 第1回五泉市地域公共交通活性化協議会の会議を終了させていただきます。 委員の皆さまお集まりいただきまして、大変ありがとうございました。
閉会 15:05	